

轍わだち

2011, 4, 20 NO 8

チラシ完成しました！

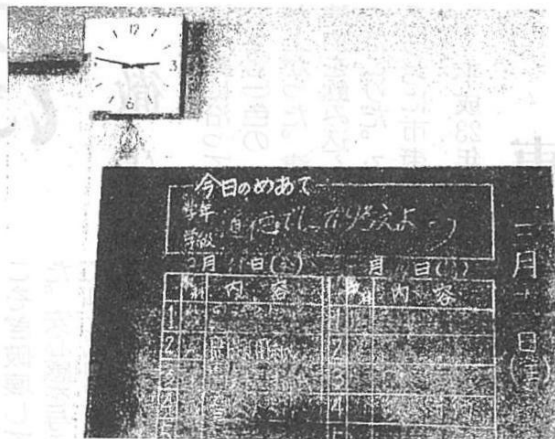
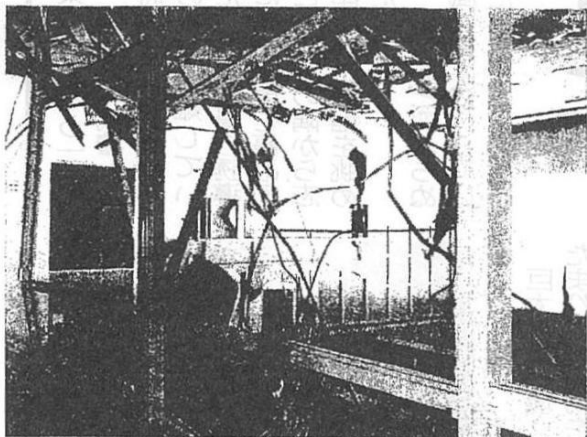
幼稚園や大学、立命館付属校に向けても発信

当日の参加を呼びかけるチラシが完成しました。平安女学院大学や幼稚園、立命館付属校に向けても、それぞれチラシを配り呼びかけていきます。

チラシ配りに協力できる！という人は、
明日21日(木)昼休み、学習室に来てく
ださい！

被災地：陸前高田の現状報告 その3

写真は海沿いにある中学校です。コンクリートの壁は残っているものの、校舎の周りにはがれきの山でした。体育館は屋根も壁もありませんでした。校舎の中に入ってみると、教室の黒板に書かれている文字が残っていました。「3月11日(金)今日のめあて 道徳でしっかり考えよう」時計は2時46分で止まっています。



昨日も新たに実行委員が増えました！

H2-2、2-3、2-4、

実行委員会は、毎日放課後244教室でやっています。

記憶 後世へ

巨震・激流

その時記者は… ⑨

南三陸町議会定例会最終日。佐藤仁町長が閉会のあいさつ

アパート船のように

小野寺 徹 ①

を述べていた。「去る9日、当地方に震度4の地震が発生して議事が中断したが…」と語った瞬間、役場が激しく揺れ始めた。

はじめは、2日前に発生した地震の余震だと思った。だが、揺れは次第に強さを増し、木造2階建ての役場が「倒壊するのでは」と思うほどの猛烈な揺れになった。廊下にあったロッカーや棚がバタバタ倒れる音がした。

地震が収まると、役場内では津波襲来に備えて職員が重要書類を持ち出す準備を始めた。その様子をカメラに収めた後、情報収集するために危機管理課がある防災対策庁舎に向かった。

防災対策庁舎は、どんな災害にも耐えられるように設計された。ここまでは津波は来ないだろう」と。中学校に到着した時は、すでにかなりの人が避難していた。学校職員の誘導に従って車を停めると、校庭の隅から志津川の市街地を眺めた。

いつもと変わらぬ風景が広がっていた。だが、数分後、巨大な水の塊（かたまり）が建物を根こそぎ破壊していた。安心感を与えてくれた気仙沼線の盛土を突き破り、なお入谷方面に流れている。その勢いは収まるどころか、勢いを増しているようだった。

大きな屋上看板を掲げたスーパーマーケット。わずかに数十分で街が消えた。「夢じゃないか」。気持ちの整理がつかないまま夜を迎えた。

津波が来るってぞ！」と誰かが叫んだ。「本当ならここも危険だ」。本能的に体が動き、咄嗟（とっさ）にその場を離れた。

次の瞬間「6歳の津波が来るってぞ！」と誰かが叫んだ。「本当ならここも危険だ」。本能的に体が動き、咄嗟（とっさ）にその場を離れた。

津波が来るってぞ！」と誰かが叫んだ。「本当ならここも危険だ」。本能的に体が動き、咄嗟（とっさ）にその場を離れた。

津波が来るってぞ！」と誰かが叫んだ。「本当ならここも危険だ」。本能的に体が動き、咄嗟（とっさ）にその場を離れた。

津波が来るってぞ！」と誰かが叫んだ。「本当ならここも危険だ」。本能的に体が動き、咄嗟（とっさ）にその場を離れた。



志津川の市街地を丸のみにする大津波（3月11日午後3時33分ごろ）

東日本大震災の証言

平成23年3月11日午後2時46分